

新幹線・700系

基本セット(1号車, 5号車, 15号車, 16号車)

共通組み立て説明書

注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- マグネットカブラー(連結部の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、ヤロをえす、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 部品加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

《お買い上げのお客様へ》不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

(東日本) 柏市豊四季241-22 ☎277-8511 ☎04-7146-0371
(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072 ☎06-6375-5050

- 電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～16時
- 電話番号はよく確かめてお間違いのないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

■動力ユニットの取り付け (Nゲージの線路上を走行させることができます。)

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

品番11-104 テビ客車用動力ユニット

- KATO製「テビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。

●トレーラー車への台車取付

- 動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

- 床板に直接、ピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。

●機関車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

- 11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

品番11-401 PS14: 直流パンタグラフ

品番11-403 PS22: 直流下枠交差形パンタグラフ

品番11-404, 11-420 PS16: 直流パンタグラフ

- 品番11-401、11-420 PS16は、4個の屋根に対応します。

- 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビESHOPなどでお買い求めください。
- トレーラー台車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けてください。

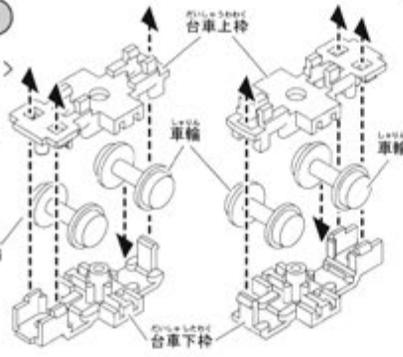
シャーシの組み立て

1 <台車の組み立て>

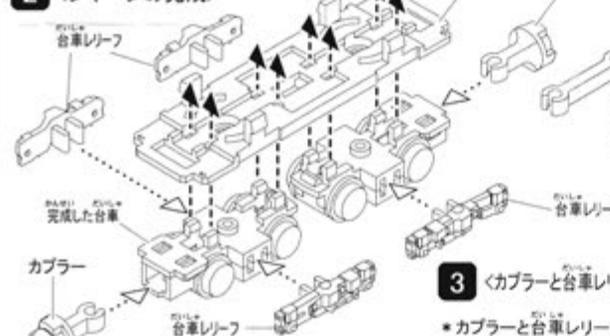
- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

向きに注意!

- 台車上枠の向き
- 台車下枠の向きに注意してください



2 <シャーシの完成>



- 出来上がった台車を床板に取付けます。
- 台車の4箇所のツメを床板に通します。
- カブラーは、先頭車の前面には付けません。

3 <カブラーと台車レリーフの取り付け>

- カブラーと台車レリーフの取り付けは、先にシャーシを車体に取り付けてから、最後に取り付ける方が楽に作業できます。
- カブラーのマグネットには極性があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

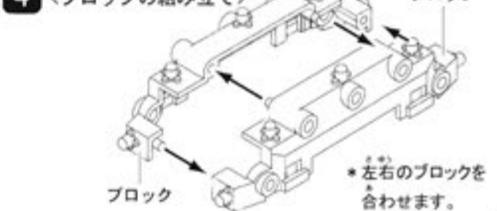
実車の編成例



台車レリーフの向きに注意。



4 <ブロックの組み立て>



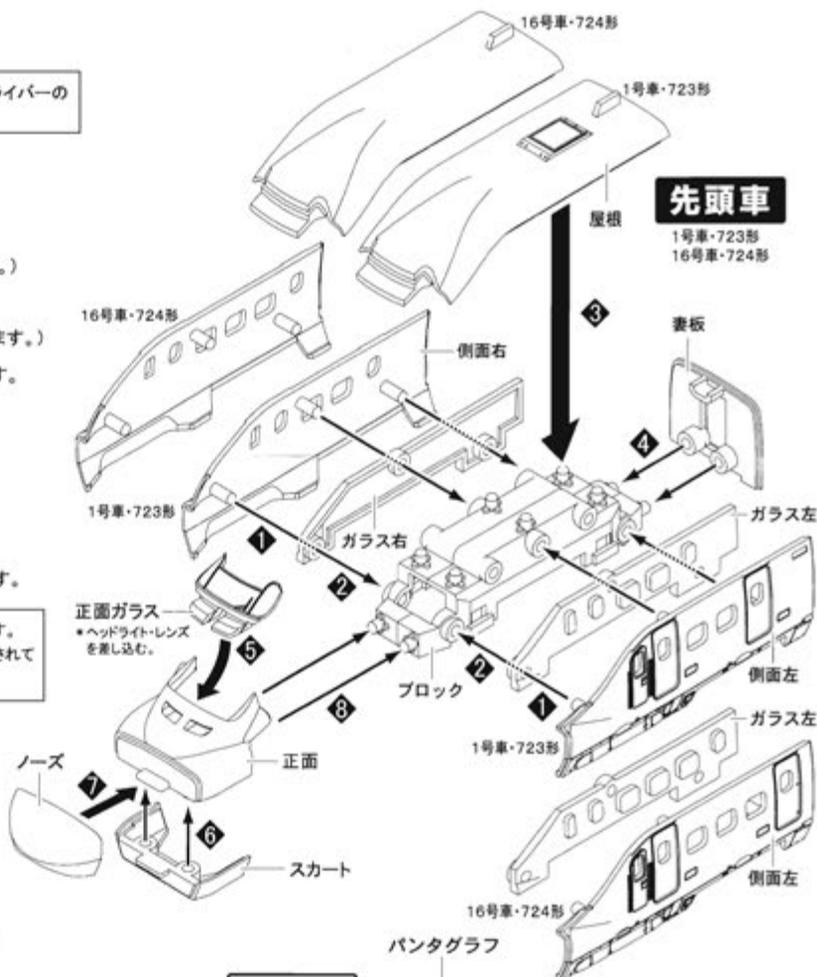
- 左右のブロックを合わせます。

車体の組み立て

●取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

- ①左右の側面に、それぞれガラスを取り付けます。
- ②組み立てた側面を、ブロックに取り付けます。
- ③屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ④妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ⑤先頭車は、正面パーツに正面ガラスを取り付けます。
(ヘッドライトのレンズ部分を差し込みます。)
- ⑥スカートを取り付けます。
- ⑦ノーズを取り付けます。
- ⑧完成した正面部を車体に取り付けます。
*⑤～⑧は先頭車のみで組み立てます。
- ⑨シャーシのツメに合わせて車体をかぶせて完成です。

●取扱に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。
正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

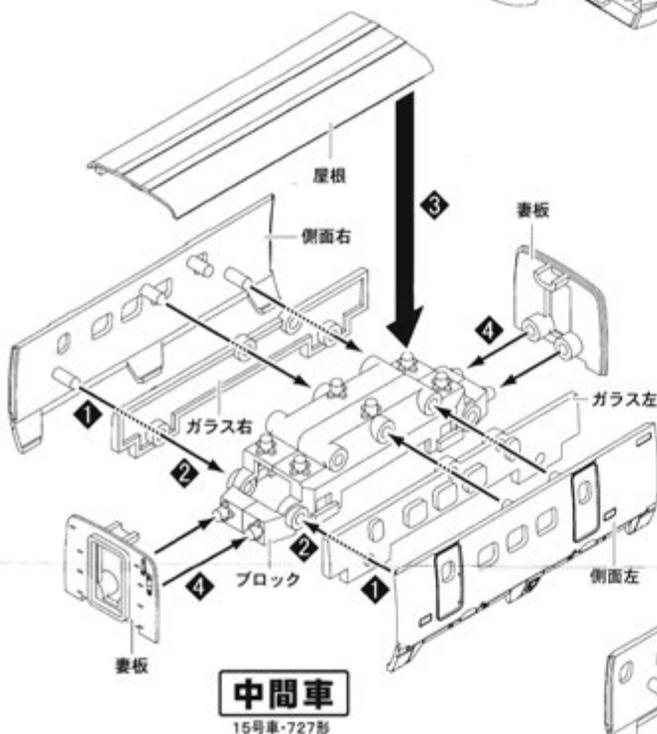


先頭車

1号車・723形
16号車・724形

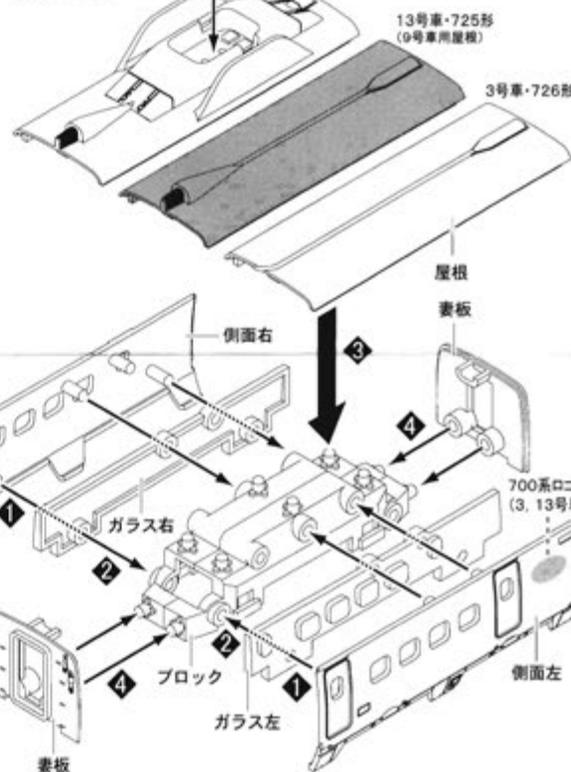
中間車

5号車・725形
(3号車・726形)
(13号車・725形)



中間車

15号車・727形



※イラスト中の13号車の組み立てには、別売りの新幹線・700系増結セットのパーツが必要です。別にお買い求めください。

新幹線・700系

増結セット(9号車, 10号車, 11号車, 14号車)

共通組み立て説明書

注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- マグネットカプラー(連結用の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

(組み立てる時の注意)

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気を付けて組み立ててください。
- 部品加工の際の汚物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

(東日本) 柏市豊四季241-22 ☎277-8511 ☎04-7146-0371
(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072 ☎06-6375-5050

- 電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～16時
- 電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

■動力ユニットの取り付け (Nゲージの線路上を走行させることができます。)

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

| | |
|----------|--------------------|
| 品番11-105 | 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ |
| 品番11-106 | 急行電車①: 空気バネ台車タイプ |
| 品番11-107 | 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ |

品番11-104 テビ客車用動力ユニット

- KATO製「テビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、平すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。

●トレーラー車への台車取付

- 動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

| | |
|----------|--------------------|
| 品番11-099 | 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ |
| 品番11-098 | 急行電車①: 空気バネ台車タイプ |
| 品番11-097 | 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ |

- 床板に直接、ピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。

●機関車への動力ユニットの取り付け

- KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

- 11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

| | |
|------------------|---------------------|
| 品番11-401 | PS14: 直流パンタグラフ |
| 品番11-403 | PS22: 直流下枠交差形パンタグラフ |
| 品番11-404, 11-420 | PS16: 直流パンタグラフ |

- ピン圧入方式の各種パンタグラフを取り付けられます。

*11-420は屋根穴が4個の屋根に対応します。

- 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
- トレーラー車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが固い(強い)ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けてください。

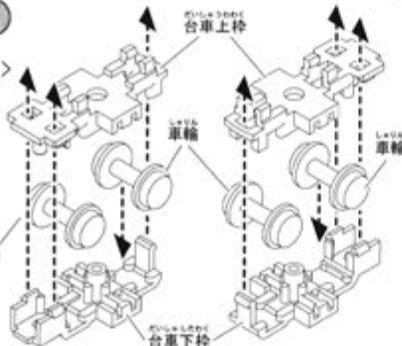
シャーシの組み立て

1 <台車の組み立て>

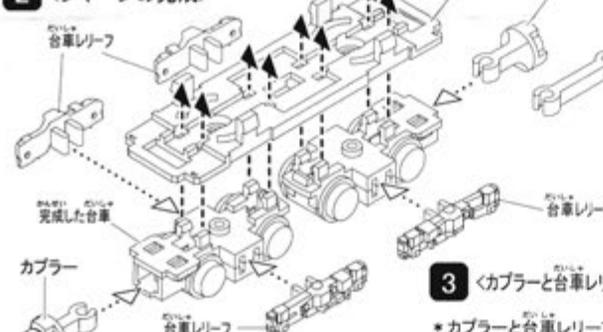
- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

向きに注意!

- 台車上枠の向き
- 台車下枠の向きに注意してください



2 <シャーシの完成>

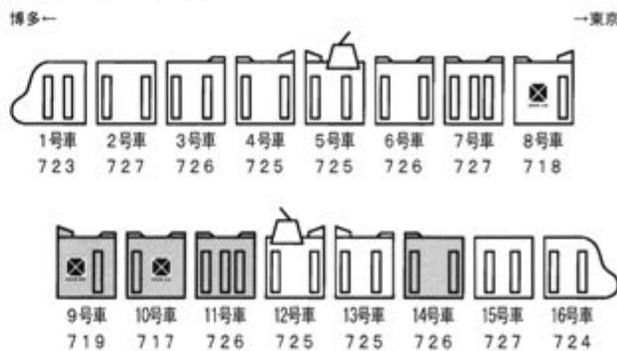


- 出来上がった台車を床板に取り付けます。
- 台車の4箇所のツメを床板に通します。
- カプラーは、先頭車の前面には付けません。

3 <カプラーと台車リリーフの取り付け>

- カプラーと台車リリーフの取り付けは、先にシャーシを車体に取り付けてから、最後に取り付ける方が楽に作業できます。
- カプラーのマグネットには極性があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

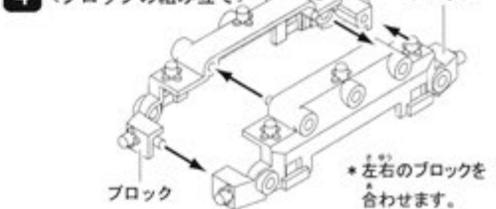
実車の編成例



台車リリーフの向きに注意。



4 <ブロックの組み立て>



- 左右のブロックを合わせます。

車体の組立て

*取り付け部が凹み場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

- ①左右の側面に、それぞれガラスを取り付けます。
- ②組立てた側面を、ブロックに取り付けます。
- ③屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ④妻板を前後2枚取り付けます。
- ⑤シャーシのツメに合わせて車体をかぶせて完成です。

*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。
正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

中間車

14号車・726形
(2号車・727形)
(4号車・725形)
(6号車・726形)
(12号車・725形)

パンタグラフ

2号車・727形
(15号車用屋根)

6号車・726形
(10号車用屋根)

14号車・726形

12号車・725形
(5号車用屋根)

4号車・725形
(9号車用屋根)

屋根
妻板

側面

ガラス

側面

ガラス

妻板

ブロック

14号車・726形用
(6号車・726形)

8号車・718形
(9号車用屋根)

10号車・717形

屋根

側面右

妻板

ガラス左

側面左

ガラス右

中間車

10号車・717形
(8号車・718形)

妻板

グリーン車マーク

中間車

9号車・719形

屋根

側面右

妻板

ガラス左

側面左

ガラス右

ブロック

妻板

グリーン車マーク

中間車

11号車・726形
(7号車・727形)

700系ロゴ
(7号車)

700系ロゴ
(11号車)

*イラスト中の2号車・12号車の組み立てには、別売りの新幹線・700系基本セットのパーツが必要です。別にお買い求めください。

700系ロゴマーク (3号車、7号車、11号車、13号車)



グリーン車マーク (8号車、9号車、10号車: 客室横)



3000番台・ロゴマーク (3000番台のみ先頭車・運転室横)



レールスターロゴ (黒: 先頭車・運転室横 白: 1、3、7、8号車)

